

## マイボーム腺機能不全

近年、ドライアイの原因としてマイボーム腺機能不全が注目されています。まぶたの裏側にはマイボーム腺という器官があり、涙の脂分を分泌しています。このマイボーム腺の出口（まつげの生え際にある開口部）が細菌感染などによって詰まると、涙に必要な脂分が十分に分泌されず、涙の成分バランスがくずれて、目が乾きやすくなったり、涙目になったり、炎症が起きたりします。これを**マイボーム腺機能不全 (MGD)**と言います。

涙は99%の水（液層）と1%の脂（油層）からなっており、最近の研究において、**脂の足りないタイプのドライアイ**がドライアイ全体の86%以上であるということがわかりました。

脂が足りなくなる最も大きな原因がこのマイボーム腺機能不全といわれています。

「脂が足りないタイプのドライアイ」は、点眼治療では改善しない場合が多いです。

